

Elazzo

SEAT COVER



SUZUKI

WAGON R SMILE

専用シートカバー取付説明書

6046 / 6047 / 6048

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

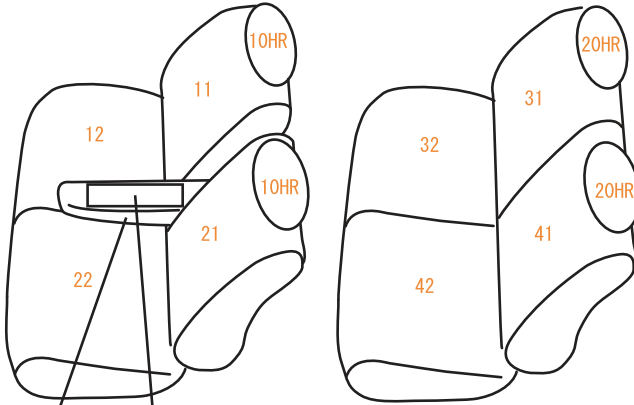
※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

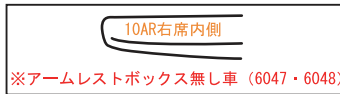
- シートカバー装着前の注意事項 ……▶ 3P～4P
- 1 列目運転席座面（シートリフター装備車）の装着方法 ……▶ 5P～7P
- 1 列目運転席座面（シートリフター未装備車）の装着方法 ……▶ 7P～9P
 - 1 列目助手席座面の装着方法 ……▶ 9P～10P
 - 1 列目背もたれの装着方法 ……▶ 11P～14P
 - 2 列目座面の装着方法 ……▶ 15P～16P
 - 2 列目背もたれの装着方法 ……▶ 17P～18P
 - ヘッドレストの装着方法 ……▶ 19P～20P
 - アームレスト（ボックス付き）の装着方法 ……▶ 21P～24P
 - アームレスト（ボックス無し）の装着方法 ……▶ 25P～26P
 - ひもの結び方 ……▶ 27P
 - 完成図 ……▶ 28P
- アフターサービスと生地別メンテナンス方法 ……▶ 29P～30P

本製品シート形状とパーツの名称

※アームレストボックス付き車 (6046)



10AR右席内側(本体) 10AR右席内側(フタ)



取付必要工具



- 1 ソケットレンチ(10mm・12mm)
- 2 プラスドライバー
- 3 ハサミ
- 4 クラッツィオ 専用ヘラ(付属)

※6047・6048のお車は、ソケット10mmとハサミは必要ありません。

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

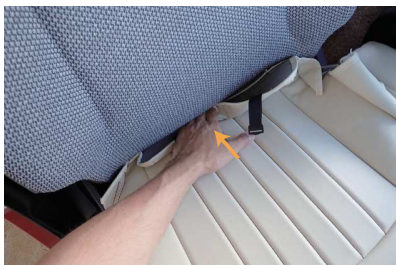
TEL 072-330-8000

Step 1

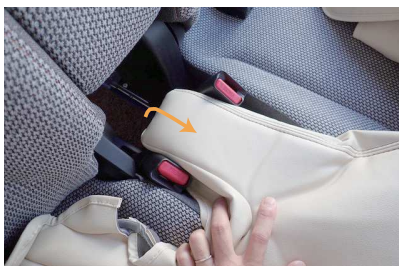
1 列目運転席座面（シートリフター装備車）の装着方法



- 1** 作業を行いやすくする為、始めにシートを一番高い位置にします。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい角度で作業を行って下さい。



- 2** シートベルトバックル横の部分からカバーをかぶせます。



- 5** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



- 3** 図のように、2番でかぶせた部分①を基点に②、③の順でカバーをシート全体にかぶせます。



- 6** カバー外側面の生地裏に付いているマジックテープを、純正表皮に貼り付けて固定します。



- 7** カバー外側面の生地をシートリフターレバーの下に通します。



- 10** カバーの付け根の生地を、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。反対側も同様に入れ込みます。



- 8** 通した生地の裏に付いているマジックテープを純正表皮に貼り付けて固定します。



- 11** シートベルトバックル収納部分の生地裏に付いているマジックテープを、収納部の底面に張り付けて固定します。



- 9** 外側面の根本部分のプラスチックの隙間に生地を入れ込みます。
※図のように一部しか入り込まない為、入る部分のみ入れ込んで下さい。



- 12** カバー前面に付いているベルトをスライドレバーの上を通し、シート裏から背面側に通します。
この時、シート裏の配線等にてできるだけ干渉しないようにして下さい。

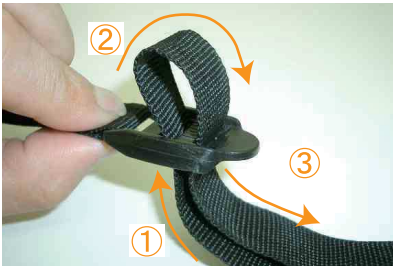
1 列目運転席座面（シートリフター未装備車）の装着方法



- 13** 通したベルトと、5番で引き出した生地が付いているバックルを固定します。ベルトの固定方法は14番を参照して下さい。



- 1** シートベルトバックル横の部分からカバーをかぶせます。



- 14** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



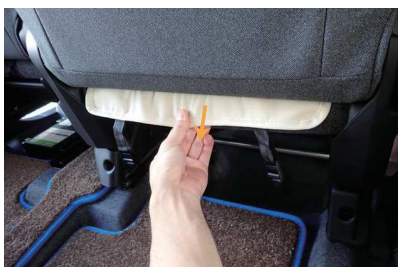
- 2** 図のように、1番でかぶせた部分①を基点に②、③の順でカバーをシート全体にかぶせます。



- 15** カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい角度で作業を行って下さい。



4 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



7 カバーの加工穴にシートベルトバックルを通します。



5 外側面の生地についている固定部材を生地ごとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



8 バックルを通した生地裏についているマジックテープを、バックル下の純正表皮に直接貼り付けて固定します。



6 カバーの付け根の生地を、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。反対側も同様に入れ込みます。



9 カバー前面に付いているベルトをスライドレバーの上を通し、シート裏から背面側に通します。この時、シート裏の配線等にできるだけ干渉しないようにして下さい。

Step 2

1 列目助手席座面の 装着方法



- 10** 通したベルトと、4番で引き出した生地
に付いているバックルを固定します。
ベルトの固定方法は11番を参照して下
さい。



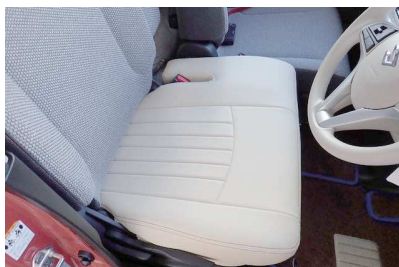
- 1** シートを跳ね上げ、カバーの加工穴から跳
ね上げ用のストラップを取り出し、カバ
ーをシートの後ろ側にひかせます。



- 11** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベ
ルトをバックルに通し、引く事でベルトが
締め固定されます。
ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れが
ありますのでご注意ください。



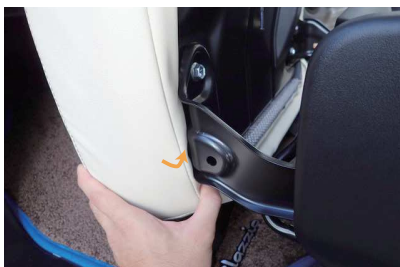
- 2** カバーを後ろから前に向かってシート全体
にかぶせます。



- 12** カバーのラインを整えて、運転席座面の完
成です。



- 3** カバー両側面から出ているひもを、シート
裏で固定します。
ひもの固定方法は27ページを参照して下
さい。



- 4** シートの軸の隙間にひもの通っている生地を入れ込みます。
※作業中にひもが緩む場合がある為、緩んだ際は再度固定し直して下さい。



- 7** シートの裏は図のようになります。



- 5** 内側の軸は隙間が狭い為、ヘラ等を使用すると作業が行いやすくなります。
※作業中にひもが緩む場合がある為、緩んだ際は再度固定し直して下さい。



- 8** カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。



- 6** カバー前後のベルトを固定します。

Step 3

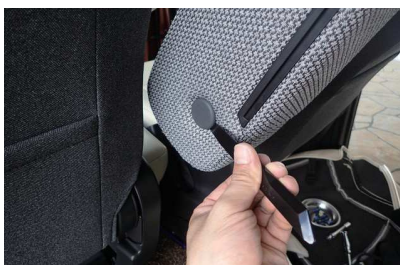
1 列目運転席背もたれの装着方法



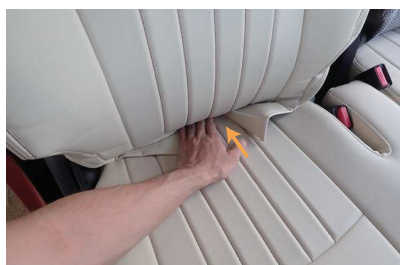
- 1** ソケットレンチ（10mm）を使用し、シート背面のテーブルの固定を外します。
※テーブル未装備車はこの作業は必要ありません。



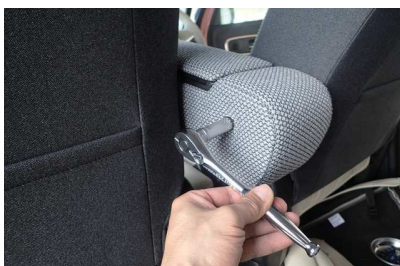
- 4** ファスナーを開き、シート全体にカバーをかぶせます。



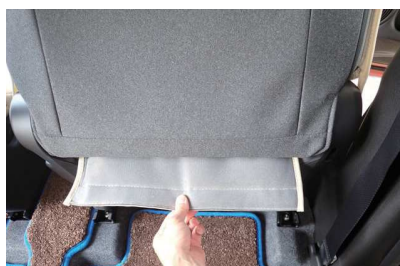
- 2** ヘラ等を使用し、アームレスト側面のフタを外します。



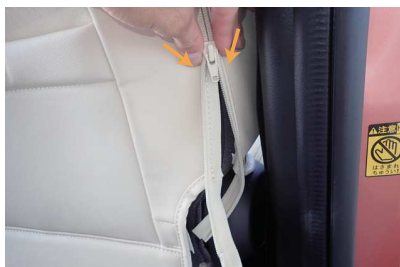
- 5** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 3** ソケットレンチ（12mm）を使用し、アームレストの固定を外します。



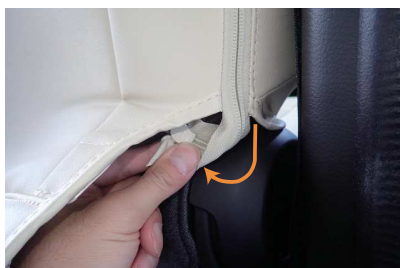
- 6** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



7 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じま
す。



10 台座を取り出すと図のように仕上がります。



8 ファスナーの端はカバーの内側に入れ込
んで下さい。



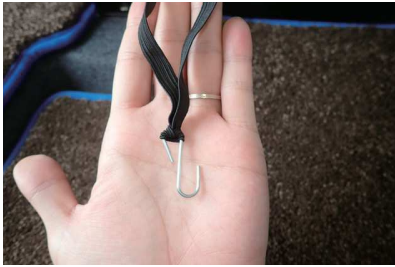
11 カバーをシートに馴染ませます。
図のように①～③の手順で、カバーの上か
ら下に向かってシワを寄せ、寄せた生地を
⑥番と同様に背面側から引き出します。



9 生地の伸びを利用して、カバーの加工穴か
らヘッドレストの台座を取り出します。
本革を使用したカバーは、生地が伸びにく
い為、台座を取り出す際に生地が裂ける場
合があります。台座に隠れない程の裂け目
が入らないようにご注意下さい。



12 引き出した生地に付いているマジックテー
プと、カバー背面下部の生地裏に付いてい
るマジックテープを固定します。



- 13** カバー背面下部の生地についているゴムに付属の金属フックを固定します。



- 16** テーブルを固定します。
※テーブル未装備車はこの作業は必要ありません。



- 14** 金属フックを座面裏の金属部分に引っ掛け固定します。
固定箇所には指定はありませんが、程よくテンションが掛かる位置に固定して下さい。
※助手席のゴムを引っ掛ける位置は少し異なる為、18番～21番をご覧ください。



- 17** カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。
形状は異なりますが、助手席も同様に取り付けます。



- 15** テーブル固定用の穴とカバーの加工穴の位置が合っている事を確認して下さい。
穴位置がずれている場合はカバーを馴染ませ直し穴位置を合わせて下さい。
※テーブル未装備車はこの作業は必要ありません。



- 18** 助手席側のゴムを引っ掛ける位置は運転席とは異なります。
座面を跳ね上げ、ボックスを外します。



- 19** 内側のゴムは図の位置の金属の縁に引っ掛けて固定します。



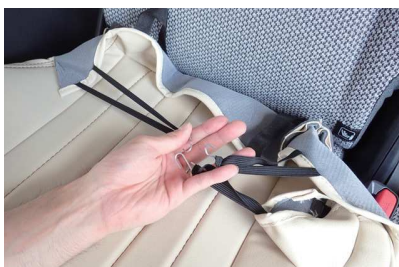
- 20** 外側のゴムは図の位置にある穴に引っ掛けて固定します。



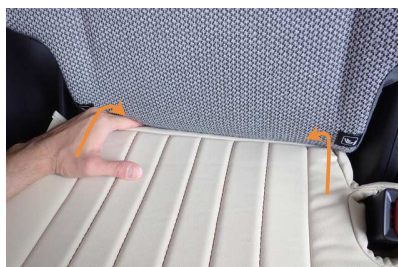
- 21** ゴムを固定した後、ボックスを戻します。

Step 4

2列目運転席側座面の装着方法



- 1** カバー外側面の付け根の生地、内側面の付け根の生地、シートベルトバックル部分の生地（計3箇所）に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。



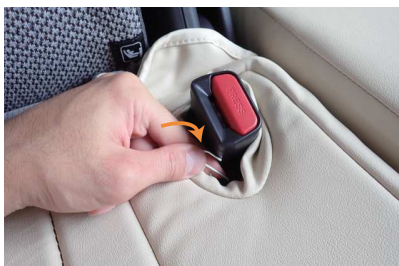
- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
この時、手でシートを包み込むようにして入れ込んで下さい。



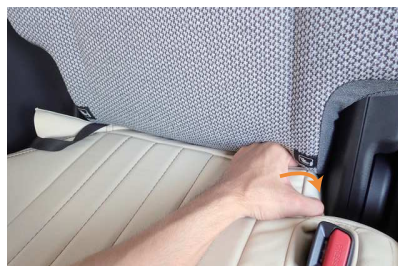
- 2** カバーをシート全体にかぶせます。
内側面にはブラフックが付いている為、純正表皮を傷つけないようにして下さい。
内側から先にかぶせ、その後外側をかぶせるようにすると作業が行いやすくなります。



- 5** 外側面のゴムの付いている生地を隙間に入れ込みます。
金属フックはシート裏に通すようにして下さい。



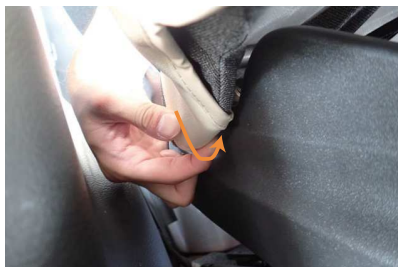
- 3** シートベルトバックル部分の生地を隙間に入れ込みます。
金属フックはシート裏に通すようにして下さい。



- 6** カバー内側面の生地をシートの形状に合わせて馴染ませます。
金属フックはシート裏に通すようにして下さい。



- 7** 3番、5番、6番でシート裏に通した金属フックを、シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。固定場所に指定はありませんが、程よくテンションが掛かる位置に固定して下さい。



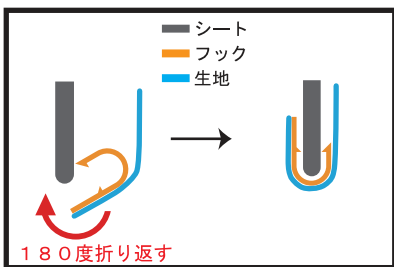
- 10** 外側面の奥に付いているブラックも同様に、シートの縁に引っ掛けて固定します。



- 8** 内側面に付いているブラック（2箇所）をシートの縁に引っ掛けて固定します。ブラックの固定方法は9番を参照して下さい。



- 11** 外側面に付いているマジックテープをシート裏へ回し、金属部分に巻き付けて固定します。



- 9** ブラックは、生地裏に付いているフックを生地ごと巻き込むように固定します。



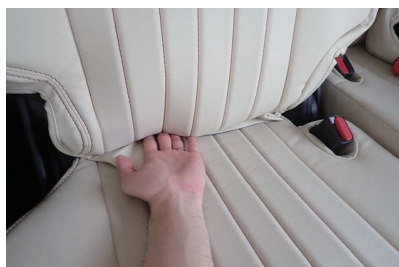
- 12** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 5

2列目運転席側背もたれの装着方法



- 1** ドライバーを使用し、シート肩口のリクライニングレバーを浮かせます。完全に外さずネジを緩めてレバー全体を浮かせるようにして下さい。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2** ファスナーを開き、シート全体にカバーをかぶせます。



- 5** ラグジボードを跳ね上げ、入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



- 3** カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。



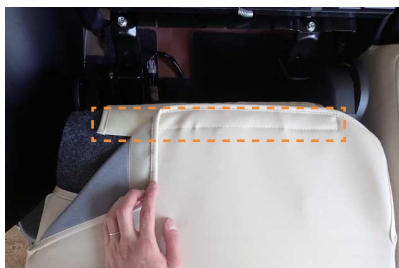
- 6** 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じます。ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



- 7** カバー両側面のマジックテープが付いている生地を背面側に回し、シート背面でマジックテープ同士を固定します。



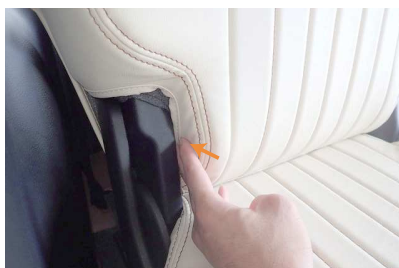
- 10** リクライニングレバーの隙間に生地を入れ込みます。
隙間に入れ込んだ後は緩めていたネジを締め直して下さい。
穴位置がずれている場合はカバーの位置を調節して下さい。



- 8** カバー背面下部の生地裏に付いているマジックテープと5番で引き出した生地が付いているマジックテープを固定します。



- 11** 背面のチャイルドシートのアンカー部分の隙間に生地を入れ込みます。
穴位置がずれている場合はカバーの位置を調節して下さい。



- 9** カバーの付け根の生地が表に出ている場合は、隙間に入れ込みます。



- 12** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

Step 6

ヘッドレストの装着方法

ヘッドレストは非常に柔らかく取付けにくい為、ヘッドレスト本体を押し込みながら取り付けるイメージで作業を行って下さい。また、ヘッドレスト本体にシワが入らないようにする為、取り付け後ヘッドレスト本体を馴染ませるようにして下さい。

1 列目ヘッドレスト



- 1** カバーを半分程度裏返し、ヘッドレストの先端までしっかりとかぶせます。板状のブラックが付いている方が前になります。



- 4** フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地と共に折り返して挟み込み固定します。



- 2** カバーを左右交互にずらし、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 5** ブラックを固定すると、図のように仕上がります。



- 3** ヘッドレストをシートから取り外し、カバー前後に付いているブラックを固定します。ブラックの固定方法は4番を参照して下さい。



- 6** カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



7 ヘッドレストの前から後ろに向かってカバーをかぶせます。



10 カバー前後に付いているブラックを固定します。



8 カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



11 カバーのラインを整えて2列目ヘッドレストの完成です。



9 ヘッドレストをシートから取り外し、ヘッドレスト裏でマジックテープを固定します。

Step 7

ボックス付きアームレストの装着方法

アームレスト本体の装着方法



- 1 ドライバーを使用し、ボックス内のネジ（1箇所）を外します。



- 4 内側面側の生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 2 ボックスをアームレストから取り外します。



- 5 外側面側の生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。アームレストをシートに戻す際に外側面側の生地を外す為、ファスナーを閉じる必要はありません。



- 3 カバーを半分程度裏返し、アームレストの先端までしっかりとかぶせます。



- 6 アームレスト本体はこれで完成です。

ボックス（フタ）の装着方法



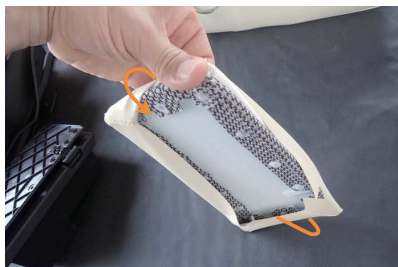
- 7** ドライバーを使用し、フタの裏で固定されているネジ（8箇所）を外します。
※フタのストッパーの戻し方を最初に確認しておく、戻す際に作業がスムーズに行えます。



- 8** フタの上側をプラスチックボードから取り外します。



- 9** カバーの向きを確認します。
フタのストッパーが付いていた部分と、カバーの切れ込みの位置を合わせて下さい。



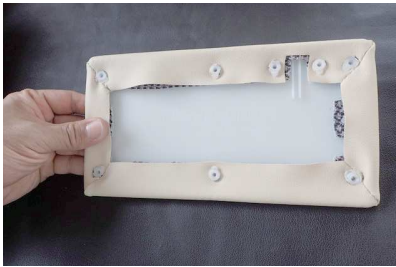
- 10** カバーをフタにかぶせます。
片方を引っ掛けてからもう片方を引っ掛けるイメージで取り付けます。
※カバーの縫い目が裂けない様に、できるだけ縫い目付近に負荷をかけずに、慎重に作業を行って下さい。



- 11** 7番で外したネジ穴部分（8箇所）に印を付けます。
この時、縫い目部分にネジ穴がある場合、少しずらして印を付けて下さい。



- 12** ハサミ等で印を付けた部分に切れ込みを入れます。
この時、初めから大きな切れ込みを入れないように注意して下さい。
また、縫い目部分は絶対に切らないで下さい。



- 13** 図のように、ネジ穴を切れ込みから取り出します。
切れ込みが小さい場合は徐々に調節しながら切れ込みを広げて下さい。



- 16** ボックスをアームレスト本体に戻します。
図のようにボックスのツメと、本体の受け側の位置関係を確認して下さい。



- 14** フタの上側をプラスチックボードに戻します。
この時、フタのストッパーの付け忘れがない様に注意して下さい。



- 17** 図のように、ボックスのツメを本体の受け側に入れるイメージで、斜めにボックスをはめ込みます。



- 15** これでボックスのフタ部分の完成です。



- 18** ツメがはまっている事を確認し、1番で外したネジを元に戻します。
ツメがはまっていない場合は17番の作業を再度行って下さい。



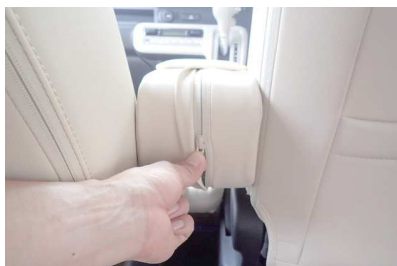
19 アームレストへのカバーの取付けが完了です。この後、アームレストをシートに戻します。



22 カバーをアームレストにかぶせます。



20 アームレストをシートに戻します。5番でかぶせた外側の生地を外し、11ページ3番で外した固定を元に戻します。



23 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じます。



21 11ページ2番で外したフタを元に戻します。



24 ボックス付きアームレストの完成です。

ボックス無しアームレストの装着方法



- 1** カバーを半分程度裏返し、アームレストの先端までしっかりとかぶせます。



- 4** 11ページ2番で外したフタを元に戻します。



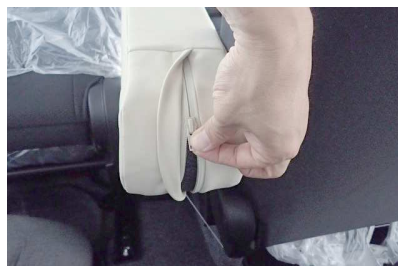
- 2** 内側面側の生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 5** 外側面側の生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 3** アームレストをシートに戻します。
11ページ3番で外した固定を元に戻します。



- 6** 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じます。

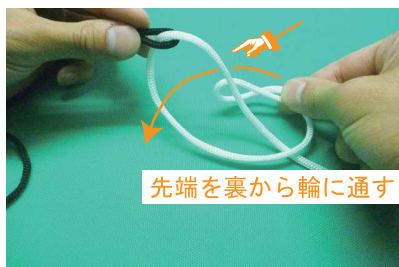


7 ボックス無しアームレストの完成です。

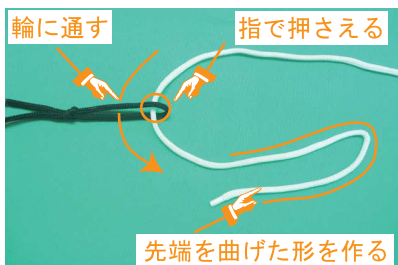
ひもの結び方



- 1** ひもの結び方です。
片方のひもを図のように輪状に結びます。
※図はわかりやすいように、色の違うひもを使用しています。



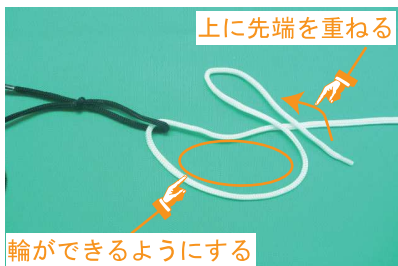
- 4** 輪に、重ねた先端を裏から通します。



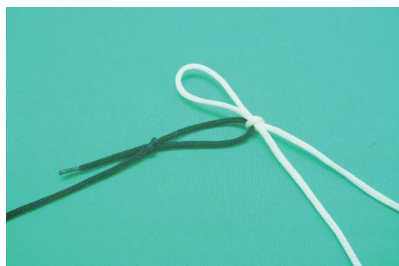
- 2** 輪に、もう片方のひもを通し引っ張ります。
ひもが締まっている状態のまま、輪にひもが通っている箇所を指で押さえます。この後の工程は押さえながら行って下さい。
また、通したひもの先端を図のような形にします。



- 5** 通した後、カバーから出ている方のひもを引っ張ります。
逆のひもを引っ張ると、ひもが抜けてしまいますのでご注意ください。

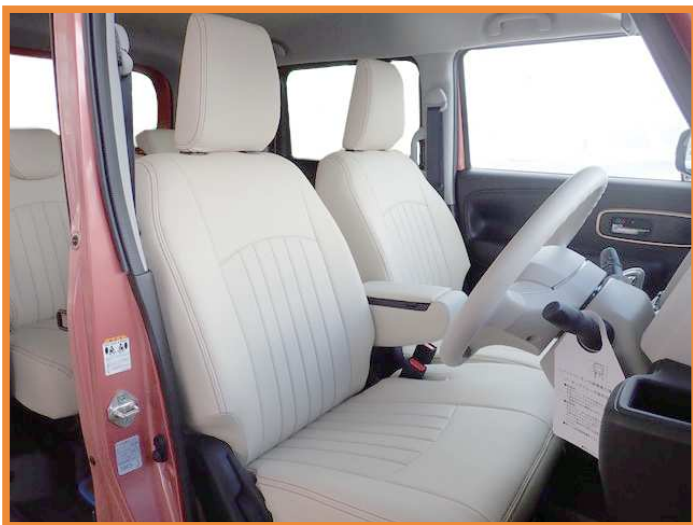


- 3** 曲げた先端を通してきたひもの上に重ねます。重ねると図のような輪状の形になります。



- 6** 引っ張ると図のような形になり完成です。

完成図



1 列目



2 列目

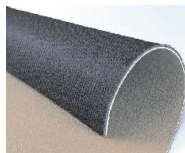


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCLレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816